

# 福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

## やまゆり中山保育園

横浜市緑区中山町 322-4

運営主体: 社会福祉法人 山百合会

|                      |           |
|----------------------|-----------|
| ● 実施概要               | 1 ページ     |
| ● 総合評価 (評価結果についての講評) | 2~3 ページ   |
| ● 評価領域ごとの特記事項        | 4~6 ページ   |
| ● 分類・項目別評価結果         | 7~17 ページ  |
| ● 利用者家族アンケート分析・集計結果  | 18~25 ページ |
| ● 利用者本人調査分析          | 26~27 ページ |
| ● 事業者コメント            | 28 ページ    |

公表日: 2016 年 10 月 24 日

実施機関: 特定非営利活動法人市民セクターよこはま

## 実施概要

|        |                      |          |      |
|--------|----------------------|----------|------|
| 事業所名   | やまゆり中山保育園（保育所）       |          |      |
| 報告書提出日 | 2016年9月23日           | 評価に要した期間 | 4ヶ月間 |
| 評価機関   | 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま |          |      |

### ■評価方法

|   |   |
|---|---|
| <b>1、自己評価</b><br>実施期間<br>2016年6月15日～2016年7月8日           | ① 職員会議で趣旨を説明し、分園・0、2歳児、幼児と小グループに分かれ、全職員に説明し、勤務時間内に記入した。<br>② 各自が記入したものをもとに、クラス会議で意見交換し、1項目ずつ確認し合意した。<br>③ クラスリーダーが自己評価票を持ち寄りリーダー会議で話し合いを重ね、最後に園長、主任で協議、合意しまとめた。   |
| <b>2、利用者家族アンケート調査</b><br>実施期間<br>2016年6月20日～2016年7月1日   | ① 全園児の保護者（92世帯）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡して配付した。<br>② 各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。  |
| <b>3、訪問実地調査</b><br>実施日：第1日 2016年8月5日<br>第2日 2016年8月12日  | [第1日]<br>① 午前：各クラスで保育観察。<br>② 昼食：2歳児クラス、幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。<br>③ 午後：書類調査。園長、主任、事務に面接調査。<br><br>[第2日]<br>① 午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。<br>② 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。<br>③ 午後：各クラス担任保育士6名、看護師1名、栄養士1名、非常勤職員1名に個別に面接調査。<br>その後、園長、主任、事務に面接調査。<br>最後に意見交換を行い、終了。 |
| <b>4、利用者本人調査</b><br>実施日：第1日 2016年8月5日<br>第2日 2016年8月12日 | ① 観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、戸外での活動も観察した。<br>② 幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。  |

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【施設の概要】

やまゆり中山保育園は、JR 横浜線および横浜市営地下鉄グリーンライン「中山駅」から歩いて 2 分ほどの所にあります。周りにはクリニックや銀行、商店などが並んでいます。駅に近く街中にありますが、近くの恩田川沿いには豊かな自然があり、子どもたちの散歩コースとなっています。

やまゆり中山保育園は、昭和 53 年（1978 年）4 月に社会福祉法人山百合会によって八朔乳児保育園として開設され、平成 22 年（2010 年）4 月に中山駅前に移転してやまゆり中山保育園と改名しました。平成 27 年（2015 年）には近くに分園（1 歳児）が開設されました。運営法人は他に緑区内に 1 園、港北区に 4 園保育園を運営しています。

やまゆり中山保育園は、ビルの 1 階にありますが、窓が大きくて明るく広々としています。2 階には、事務室や会議室があります。小さいながらも園庭、テラスがあり、子どもたちが夏にはプール遊びをしています。

定員は 110 名（産休明け～5 歳児）、開園時間は平日（月～金）は 7：00～21：00、土曜日は 7：00～18：30 です。

園目標として「元気に明るくのびのびと」「遊びを大切にして、集団の中で成長発達の芽を育てる」「一人一人の思いを受け止め、その暮らしさを大切に」を掲げています。

### ◆ 高く評価できる点

#### 1、子どもたちは保育士に優しく受け止めてもらい、園生活を楽しんでます

保育士は子どもたちに優しく話しかけて子どもの思いを受け止め、子どもができたことや見つけたことを一緒に楽しみながら、保育にあたっています。

乳児は、集団を分けるなどの工夫をして、子どもが落ち着いて活動できるよう環境を整えています。保育士は、子どもの遊びをリードし、それぞれの子どものペースにあった遊び方ができるように支援しています。子どもたちは保育士に甘え、笑顔でたくさん話しかけてもらっているため、自分の気持ちを素直に言葉や表情、仕草で表現し、落ち着いて園生活を過ごしています。

幼児は、保育士が子どもたちの興味や関心に合わせ、遊びの中でいろいろなことが学べるようにプログラムを工夫しています。散歩や園庭で見つけた虫や植物、小動物を子どもたちと飼育したり、子どもたちと一緒に図鑑で調べたりしています。また、子どもが好きなクイズを利用して紙芝居で安全教育や食育をしています。子どもが顔に興味を示したことから自分の顔を観察し描く練習をするなど、子どもたちは遊びながら様々なことを学び、成長しています。

園は、絵本は「心の栄養」として絵本や紙芝居の読み聞かせを大事にしています。各保育室には、子どもの発達や年齢だけでなく、クラスの子どもの個性や興味、関心等を考慮して選別された絵本が置かれており、子どもたちは活動の合間に自分から絵本を取り出し、読んでいます。階段下には図書コーナーが設けられていて、敷物や椅子、ぬいぐるみなどが置かれ、子どもが落ち着いて絵本に親しむ空間となっています。活動の切れ目には、絵本や紙芝居を用いた読み聞かせを意識的に多く取り入れています。0 歳児から絵本に親しんでいるため子どもたちは絵本が大好きで、賑やかだった子どもたちが保育士が絵本を取り上げると、一瞬にして静かになり集中する様子を観察時にもたくさん見ることが出来ました。

#### 2、保育士は園目標の実現に向け、連携して保育にあたっています

園目標に「一人一人の思いを受け止め、その暮らしさを大切に」を掲げ、保育士はクラス会議や職員会議で話し合って思いを共有し、理念の実現に努めています。保育士は、子ども一人一人の様子を観察

し、子どものつぶやきや小さな発見、できたことなどを、会議だけでなくその場その場で共有し、連携して保育にあたっています。保育士は、笑顔で子どもに接し、子どもの小さな成長を喜び、保育を楽しんでいます。このような保育士の働きかけは、子どもたちの穏やかで落ち着いた様子からも伺うことができます。

保育士は、運営法人の発表部会、研究部会、情報部会などの研修に参加し、自己研鑽に励んでいます。また、横浜市や緑区、横浜市北部地域療育センターなどの外部研修にも積極的に参加し、職員会議で伝達研修を行い、成果を保育に反映しています。園はベビーマッサージや幼稚園教諭、幼児体育指導員などの専門性を深めるための資格取得を推進していて、保育士のモチベーションにつながっています。

### 3、地域の子育て家族が仕事と家庭を両立できるような支援に積極的に取り組んでいます

運営法人の経営理念に保護者が仕事と育児が両立するための支援を掲げています。駅近くにあるので、保護者が自転車を保育園に置いて仕事に行けるよう駐輪場を用意するなど、園は、保護者のニーズにきめ細かく対応しています。

地域の子育て支援ニーズに対しても、積極的に取り組んでいて、1歳児の待機児童解消にむけて分園を開設したり、緑区からの要請を受けて休日保育を実施するなど、駅前保育園という園の特性を活かしています。これらの子育て支援事業を開始するにあたっては、緑区などの関係機関だけでなく、所属する商店会や保護者、地域の保育園などと情報交換をし、地域に向けたアンケート等で園としても情報収集をし、把握したニーズを客観的に分析した上で対応しています。

また、一時保育や園庭・保育室開放、交流保育、育児講座などの地域向けの子育て支援に取り組むだけでなく、地域の中山中学校の職業講話で保育士が保育の仕事の意義や楽しさについて話すなど、地域社会と連携し、青少年の育成などの地域のニーズに応えています。

## ◆さらなる取り組みが期待される点

### 1、職員個々の自己評価を園としての自己評価につなげることが期待されます

保育士は、年度末に自分自身の業務についての自己評価を行い、その結果を次年度に活かしています。また、年間の運営に関する振り返りをクラス会議やリーダー会議で行っています。年度末には保護者アンケートを実施して振り返り、結果を保護者にフィードバックしています。

ただし、このような素地が出来上がっているにもかかわらず、園としての自己評価は行われていません。今後は園としての自己評価を管理層がまとめ、園が抱える課題や今後の方向性について職員間で共有することが期待されます。

## 評価領域ごとの特記事項

※このページは、かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って記載しています。

### 1、人権の尊重

- ・園目標は「元気に明るくのびのびと」「遊びを大切に、集団の中で成長発達を育む」「一人一人の思いを受け止め、その子らしさを大切に」となっており、利用者本人を尊重したものとなっています。園目標は保育室、玄関などの掲示板に掲げられており、職員は全員、園目標を理解しています。
- ・虐待対応マニュアルを作成するとともに、園の運営規程の中に虐待防止のための措置を明記し、全職員に虐待について周知しています。虐待が疑わしい場合は、横浜市北部児童相談所と連携を取って見守る体制を取っています。
- ・職員会議などで子どもの人権について話し合っています。保育士は子どもに優しく話しかけ子どものあるがままの姿を受け止めていて、一人一人の子どもの人格を大切に保育にあたっています。
- ・倫理規定、個人情報保護法マニュアルに守秘義務について定め、職員に周知しています。ボランティア、実習生に対しては、オリエンテーション時にしおりを用いて周知しています。保護者に対しては、年度初めに「個人情報の取り扱いに関する基本方針」を配布し、説明しています。

### 2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・天気が良い日には毎日近隣の散歩に出かけています。散歩コースである近くの恩田川の川沿いには、豊かな自然があり、子どもたちは季節の草花を観察したり、虫探しをしたり、カメやカエルなどの生き物を見たりしています。
- ・園では絵本に力を入れ、活動の切れ目などに読み聞かせや紙芝居、絵本を読む時間など多く取り入れています。
- ・廊下が保育室に面していて、子どもたちは廊下で他のクラスの子どもたちと話をしたり、他のクラスの様子を見に行ったりして、日常的に交流しています。また、七夕、節分、ひな祭り等の行事は全クラス合同で行っています。
- ・跳び箱、大縄跳び、鉄棒、ゴム高跳び、巧技台、ボール投げ、サッカー、ドッチボールなど身体を動かし、運動能力を高めるような遊びを多く取り入れています。
- ・食育の取り組みとしては、季節の野菜の栽培、収穫、調理、ケーキ作り等のクッキング、おもちゃつきなどを行っています。
- ・献立は旬の食材を用いた季節に合った和食中心の献立となっています。野菜を多く取り入れ、朝のおやつは野菜のゆでたもの、午後のおやつも手作りでです。
- ・乳児は毎日、幼児は必要に応じて連絡帳を用いて保護者と情報交換しています。年1回の個別面談、年2回のクラス懇談会、年1回のクラス交流会を実施しています。5歳児は敬老の日に祖父母を招待しています。

### 3、サービスマネジメントシステムの確立

- ・乳児については毎月、幼児は3ヶ月に1回、目標を立てて個別の指導計画を作成しており、子どもの発達状況に対応して指導計画を作成しています。
- ・横浜市北部地域療育センターと連携しており、保護者の同意の下に助言を得られる体制をとっています。
- ・年度末やイベントの後に保護者のアンケートを実施し、直接園に対する要望や苦情を出してもらっています。出された問題については、できるかぎり迅速に対応するようにしています。
- ・健康管理マニュアルがあり、それに基づき子どもの健康状態を把握しています。看護師は朝と昼に各

保育室をラウンドし、子どもの健康状態をチェックし、保育士の相談にのっています。

- ・感染症、安全管理、衛生管理、事故対応マニュアルなどの各種マニュアルを整備しています。
- ・保育室には乳幼児に対する蘇生法、手当のステップ、緊急時の避難方法、避難までの行動マニュアルなどの分かりやすい手順書が掲示され、職員がいつでも対応できるようになっています。

#### 4、地域との交流・連携

- ・地域の子育て支援として、園庭・保育室開放を月1、2回、七夕まつり、リトミック、水遊びなどの交流保育、一時保育などを実施しています。また、分園で定員10名の休日保育を実施しています。育児講座としては、保育士によるベビーマッサージを年2回と栄養士によるひな祭り弁当作りを実施しています。
- ・園の育児支援パンフレット「つくし広場」に園の育児支援の年間予定表を掲載し、情報提供しています。
- ・育児相談を月曜日から金曜日まで実施していて、実績もあります。その旨を園の外の掲示板に掲示するとともに、緑区の「みどりっこカレンダー」に掲載しています。
- ・運動会、お楽しみ会には、地域住民を招待しています。近隣の大家、医療機関や銀行、障がい者施設などには5歳児がプログラムを届けに行っています。
- ・地域の商店会に所属し、行事でタケノコご飯を販売するなどしています。
- ・中山小学校とは日常的に連携しています。中山中学校の1年生に保育士が職業講話として、保育士の仕事について話をしました。
- ・子どもたちは散歩で、公園でゲートボールをするお年寄りと交流したり、畑で農作業する地域の農家と会話したりしています。散歩での交流がきっかけとなり、子どもたちは地域の農家でイチゴ狩りやなし狩りを楽しんでいます。
- ・緑区社会福祉協議会のサマーボランティア、中学校の職業体験等を受け入れています。霧が丘高校の吹奏楽部がクリスマス会で演奏しています。また、夕方には地域のボランティアに警備をしてもらっています。

#### 5、運営上の透明性の確保と継続性

- ・職員の倫理規定や就業規則等で、職員が不正な行為を行わないように明文化されています。
- ・ゴミの分別収集を実施し、廃油にカセイソーダを加え「プリン石けん」を作るなど、ゴミの軽量化、リサイクル化に取り組んでいます。
- ・分園を開園するなどのような重要な案件に関して、その意思決定にあたり保護者の意見を聞くようにしています。重要な案件についての意思決定については、その経緯を職員および保護者に説明しています。
- ・ただし、重要な案件が現在は特になくことから、園内で異なる職種によるプロジェクトチーム、あるいは検討チームを作る仕組みはできていません。今後、重要な案件が出てきた場合、異なる部門から成る検討委員会を作ることが期待されます。
- ・園長は運営法人の系列園の園長会、緑区の園長会に出席して、事業運営に影響のある情報を収集しています。


#### 6、職員の資質向上の促進

- ・保育の大学や専門学校の実習生を多数受け入れています。
- ・運営法人では人材育成の基本的な方向を定めています。目指す職員像、職員に求められる能力を明記しており、それに基づいて人材育成計画が策定されています。
- ・運営法人による研修会が定期的開催されており、職員は必要な研修を受講しています。年度初めに、外部の研修メニューから各自が必要とする研修を選択し、主任はこれらについて、調整し、参加でき



るようにしています。

- ベビーマッサージや幼児体育指導員などの専門性を深めるための資格取得を奨励しています。
- 職員は、毎年年度の初めに自分の目標を立てて、その実践を行い、年度末に自己評価を行う仕組みがあります。この結果は次の年度の目標設定に活かしています。
- 年度末には、自分たちの自己評価を踏まえて、年間の運営に関する振り返りをクラス会議やリーダー会議で行っています。しかしながら、保育園として、園の理念や方針、保育課程に沿って自己評価は行っていません。今後は、園としての自己評価が行われることが期待されます。
- 年度末に、自己評価表を提出した後に園長による職員に対する個人面談を行っており、その際に職員の満足度を把握するようにしています。

## 分類別評価結果

- ※ 横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。
- ※  ←「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。  
3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある
- ※ 評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域Ⅰ 利用者（子ども）本人の尊重

| 評価分類   | 評価の理由(コメント)   |
|--|---|
| <p><b>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</b></p>  <p>(1)保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。<br/>(2)保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。<br/>(3)日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育目標は「子ども達の笑顔と未来のために」「子ども達が信頼できる大人集団になるためにすべての人と手つなぎの輪を広げます」「子どもの身体作りの為により食事のあり方を目指します」「子どもの五感を大切に、生きる力の土台を作ります」となっており、園目標は「元気に明るくのびのびと」「遊びを大切にして、集団の中で成長発達の芽を育てる」「一人一人の思いを受け止め、その子らしさを大切に」となっており、これらは利用者本人を尊重したものとなっています。園目標は保育室、玄関などの掲示板に掲げられており、職員は全員、園目標を理解しています。</li> <li>・保育課程は保育目標、園目標を第一義に掲げており、子ども利益を重視したものとなっています。</li> <li>・年齢ごとに、養護、教育の区分で詳細に指導計画が作成されています。必要なことは、きちんと説明して、保育士はその子どもに合った方法でコミュニケーションを取り、このような中から得られた子どもの意見や意思は指導計画に反映されています。</li> </ul> |
| <p><b>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</b></p>  <p>(1)入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。<br/>(2)新入園児の受け入れ時の配慮を十分しているか。<br/>(3)子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭環境調査票・入園前健康診断書などの調査票に記録を求め、入園までの生育歴などを把握しており、子どもの発達状況や課題を把握しています。</li> <li>・新入園児に対して4、5月までは主担当を決めています。入園時には、保護者の要望があれば心理的よりどころとなるものを自由に持ち込むことができ、新入園児の受入時に配慮をしています。</li> <li>・乳児については毎月、幼児は3ヶ月に1回、目標を立てて個別の指導計画を作成しており、子どもの発達状況に対応して指導計画を作成しています。</li> </ul>  |



### I-3 快適な施設環境の確保



- (1)子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。
- (2)沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。
- (3)子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

- ・本園は東西方向、分園は南の方向に大きな開口部が取られており、陽光が十分取り入れられる構造となっています。各保育室には空気清浄機、エアコンが設置されており、気になる臭いの除去や、温湿度の管理が適切に行われています。
- ・0歳児室、1歳児室には沐浴設備が設置されており、常に清潔に保たれています。園庭、テラスには温水シャワーが設置されています。
- ・0歳児の保育室は、パーティションで区切られており、1歳児の場合は、保育室の中に、マットを敷いて、そこに小グループを集めて読み聞かせや、おもちゃ遊びなどができるなど小集団保育ができるように工夫しています。

### I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- (1)子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか。
- (2)子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。


- ・3歳未満の子どもに対しては、毎月の目標を立てて個別指導計画を作成しています。幼児についても、3ヶ月ごとに個別目標を立てています。また、特に配慮を要する子どもや、気になる子どもについては個別指導計画を作成しています。
- ・入園時に、それまでの家庭環境や生育状況を調べるための調査票が用意されており、保護者に記入してもらっており、入園後は「個人別発達記録」で個々の成長を記録しています。

### I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み




- (1)特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。
- (2)障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。
- (3)虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。
- (4)アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていないか。
- (5)外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

- ・特に配慮を要する子どもも積極的に受け入れています。気になる子どもや配慮を要する子どもについては職員会議などで話され、情報は職員間で共有されています。
- ・トイレを障がい児が使えるような設計にしたり、出入り口の段差をスロープにするなど、障がい児保育のための整備に配慮しています。
- ・横浜市北部地域療育センターと連携しており、保護者の同意の下に助言を得られる体制をとっています。以前、聴覚障がいの子どもの受け入れていた関係から、ろう特別支援学校と交流保育として、週1回程度で聴覚障がいの子どもの受け入れており、さらに職員がろう特別支援学校に研修に行くなどの交流を深めています。
- ・虐待対応マニュアルが作成されており、園の運営規程の中に虐待防止のための措置が書かれており、全職員に虐待について周知しています。虐待が疑わしい場合は、横浜市北部児童相談所と連携を取って見守る体制を取っています。
- ・入園時に健康台帳にアレルギーについて記載してもらい、さらにアレルギーがある場合は「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」を医師に記載してもらうようになっています。除去食の子どもの場合、ほかの子どもと机を離して座り、専用のトレイを使用し、職員がチェックして誤食を防ぐようになっています。

|  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在籍している外国籍の子どもがおり、その国の文化や生活習慣等について理解しようと務めており、対応しています。また、意思疎通が困難な場合は、連絡ノートにルビを振ったり、ローマ字で対応すると同時に、必要な場合には横浜市国際交流センターに通訳をお願いして、コミュニケーションに配慮しています。</li> </ul>  |
| <p>I - 6 苦情解決体制</p>  <p>(1)保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。</p> <p>(2)要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園のしおりには苦情相談窓口が示されており、第三者委員の名前および電話番号が記されており、直接苦情を申し立てることができるようになっています。また、年度の初めに、保護者会の会合において第三者委員の説明をしています。</li> <li>・年度末やイベントの後に保護者のアンケートを実施し、直接園に対する要望や苦情を出してもらっています。出された問題については、できるかぎり迅速に対応するようにしています。</li> <li>・苦情対応マニュアルが整備されており、利用者の苦情が出されてから解決までの流れが明記されています。</li> </ul> |

## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）  |
|---|--|
| <p data-bbox="137 255 488 291">Ⅱ－１ 保育内容[遊び]</p>  <p data-bbox="137 439 558 555">(1)子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。</p> <p data-bbox="137 573 558 645">(2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。</p> <p data-bbox="137 663 558 779">(3)動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。</p> <p data-bbox="137 797 558 958">(4)子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p> <p data-bbox="137 976 558 1048">(5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p> <p data-bbox="137 1066 558 1137">(6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室には、おもちゃや絵本が低い棚に並べられていて、子どもが自分で選んで遊べるようになっていきます。乳児は手作りおもちゃや布おもちゃ、布でできた人形、幼児はパズルや細かいブロック、トランプ、カルタなどが置かれていて、子どもの年齢や発達、興味に合わせたものとなっています。</li> <li>・肝試しをしてみたいと言う声からお泊り保育にお化け屋敷をテーマにした宝探しゲームをしたり、カブトムシの卵を見つけた子どもからの声で 2 年間にわたりカブトムシの飼育を行うなど、子どもの発想を集団活動に取り入れています。</li> <li>・はつか大根やミニトマトをプランターで育てています。また、歩いて 15 分ほどの所に園の畑があり、サツマイモなどの季節の野菜や花を育てています。収穫したサツマイモで焼き芋大会をしたり、ひまわりの花を共同製作で描くなど集団活動につなげています。</li> <li>・天気が良い日には毎日近隣の散歩に出かけています。散歩コースである近くの恩田川の川沿いには、豊かな自然があり、子どもたちは季節の草花を観察したり、虫探しをしたり、カメやカエルなどの生き物を見たりしています。</li> <li>・自由遊びの時間には、子どもたちは自由に絵を描いたり、粘土遊びをしています。一人が歌いだすと周りの子どもも一緒に歌ったり、隣のクラスの歌に合わせて 0 歳児が身体をゆすったりする姿を観察時にも見ることができました。</li> <li>・園では絵本に力を入れ、活動の切れ目などに読み聞かせや紙芝居、絵本を読む時間など多く取り入れています。階段下に落ち着いて絵本が読める図書コーナーを設けるとともに、各保育室に年齢や発達だけでなく、子どもの興味や関心、個性等に合わせて選別された絵本が並べられています。</li> <li>・子どものけんか等の場面では、乳児はすぐに間に入って止め、子どもの気持ちを代弁しています。幼児の場合は、危険がないよう見守り、双方の話を聞いて受け止め、お互いの気持ちを代弁したり、方向性を示したりしています。</li> <li>・廊下が保育室に面していて、子どもたちは廊下で他のクラスの子どもたちと話をしたり、他のクラスの様子を見に行ったりして、日常的に交流しています。年下の子どもが年上の子どもの様子を見に行くと真似をしたり、年上の子どもが廊下を通りがかりに優しく話しかけるなどしています。また、七夕、節分、ひな祭り等の行事は全クラス合同で行っています。</li> <li>・跳び箱、大縄跳び、鉄棒、ゴム高跳び、巧技台、ボール投げ、サッカー、ドッチボールなど身体を動かし、運動能力を高めるような遊びを多く取り入れています。運動をする上でのコツを丁寧に教え、子どもの小さな進歩をほめて子どもの自信につなげ、子どもが無理なく運動に親しめるようにしています。夏には、園庭や</li> </ul> |

テラスでプール遊びを楽しんでいます。

## Ⅱ－１ 保育内容[生活]



- (7)食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。
- (8)食事の場、食材、食器等に配慮しているか。
- (9)子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。
- (10)子どもの食生活について、家庭と連携しているか。
- (11)午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。
- (12)排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。




- ・離乳食は保護者と相談しながら、個々に合わせて進めています。保育士は子どもと目を合わせて声をかけ、子どものペースに合わせて、ゆっくりと食べさせています。保育士は、子どもの食べようとする意欲を大切に見守り、「おいしいね」「もぐもぐ」「すごい」などと声をかけたり、食べ物をスプーンにのせたり、おかずを寄せたりなどの援助をしています。
- ・食育の取り組みとしては、季節の野菜の栽培、収穫、調理、ケーキ作り等のクッキング、おもちつきなどを行っています。
- ・献立は旬の食材を用いた和食中心の献立となっています。野菜を多く取り入れ、朝のおやつは野菜のゆでたもの、午後のおやつも手作りです。
- ・幼児は行事の時にバイキング形式にしています。手作りのランチヨンマットを用いたり、季節の花やクリスマスツリー等を飾ったりし食事の雰囲気作りをしています。
- ・保育日誌と給食表に保育士が子どもの喫食状況を記録しています。給食職員は日誌や保育士との会話から子どもの喫食状況を把握し、切り方や固さを調整するなどしています。
- ・保護者が試食する機会としては、クラス交流会で手作りマフィンの試食を行っています。保育参加の時には、保護者も一緒におやつを食べています。保護者会主催の夏祭りでもおにぎりやパイケーキなどの給食メニューを提供しています。
- ・午睡前には、絵本の読み聞かせの時間を取り、子どもが落ち着いてから眠りに入れるようにしています。カーテンを閉めるなどし、静かな環境作りをしています。
- ・1歳からトイレに座る練習を始め、成功する子どもから保護者と相談し、トイレトレーニングを開始しています。子どもの園での排泄状況を、連絡帳や送迎時、懇談会や個別面談などで保護者に伝え、連携しています。

## Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理[健康管理]



- (1)子どもの健康管理は、適切に実施されているか。
- (2)健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。
- (3)感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

- ・健康管理マニュアルがあり、それに基づき子どもの健康状態を把握しています。看護師は朝と昼に各保育室をラウンドし、子どもの健康状態をチェックし、保育士の相談にのっています。
- ・0歳児から食後の歯磨きをしています。0歳児～3歳児は保育士が仕上げ磨きをしています。4・5歳児はおやつ後にも歯磨きしています。
- ・年2回健康診断、年1回歯科健診を実施していて、それぞれ健康台帳、歯科健康ファイルに記録しています。保護者へは、別紙を用いて伝えています。
- ・感染症マニュアルを整備し、園のしおりに感染症一覧、登園停止基準表、感染症への対応を掲載し、入園説明会や懇談会で保護者に周知しています。保育中に感染症が発症した場合には、速やかに保護者に電話で連絡し、対応について保護者と相談しています。

|   |   |
|---|---|
|   | <p>保護者がお迎えにくるまで、医務室で様子を見ています。</p>   |
| <p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p>  <p>(4)衛生管理が適切に行われているか。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理マニュアルがあります。</li> <li>・運営法人の看護師部会でマニュアルの見直しをしています。園としても感染症の流行時などに職員会議で見直し、更新しています。毎年秋に嘔吐処理の研修を実施しています。また、感染症の流行時などにもそのつど研修をし、確認しています。</li> </ul>   |
| <p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p>  <p>(5)安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。<br/> (6)事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。<br/> (7)外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全管理マニュアルがあり、職員に周知しています。マニュアルは事故や災害に適切に対応しています。保育室には乳幼児に対する蘇生法、手当のステップ、緊急時の避難方法、避難までの行動マニュアルなどの分かりやすい手順書が掲示され、職員がいつでも対応できるようになっています。</li> <li>・毎月、地震や火災を想定した避難訓練を実施しています。幼児は、地域防災拠点である中山小学校への避難訓練も実施しています。</li> <li>・子どものけがについては、軽傷であっても連絡帳に記載するとともに必ず保護者に口頭で状況を説明しています。けがや事故は事故（けが）急病発生報告書に記載するとともにクラス日誌、園日誌にも記録し、職員会議で報告し、再発防止についても話し合っています。</li> <li>・玄関は常時施錠しています。夕方は地域のボランティアが入口で見守っています。緑区の防犯メールに登録するとともに、大家や近隣の商店からも、不審者に関する情報を得ています。</li> </ul>   |
| <p>Ⅱ－３ 人権の尊重</p>  <p>(1)保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。<br/> (2)必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。<br/> (3)個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。<br/> (4)性差への先入観による役割分業意識を植え付けられないよう配慮しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園目標に「一人一人の思いを受け止め、その子らしさを大切に」を掲げていて、職員会議などで子どもの人権について話し合っています。保育士は子どもに優しく話しかけ子どものあるがままの姿を受け止めていて、一人一人の子どもの人格を大切に保育にあたっています。</li> <li>・棚の陰や廊下、図書コーナー、ベランダへの出入口など、友達や保育士の視線を意識せずに過ごせる場所があります。子どもと一対一で話し合いたい時や子どものプライバシーを守る必要がある時には、図書コーナーや医務室を用いています。</li> <li>・倫理規定、個人情報保護法マニュアルに守秘義務について定め、職員に周知しています。ボランティア、実習生に対しては、オリエンテーション時にしおりを用いて周知しています。保護者に対しては、年度初めに「個人情報の取り扱いに関する基本方針」を配布し、説明しています。保育園で撮影するビデオや写真の扱いについては保護者の意志を確認し、承諾の署名を取っています。個人情報に関する記録は事務室の施錠できる場所に保管し、管理しています。</li> <li>・性別で遊びや行事の役割、グループ分けをしていません。子どもの名前の呼び方について職員会議で話し合うなど、性差について職員同士で話し合う仕組みがあります。パート会議でも取り上げています。</li> </ul> |



## Ⅱ－４ 保護者との交流・連携




- (1)保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。
- (2)個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。
- (3)保護者の相談に応じているか。
- (4)保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。
- (5)保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。
- (6)保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。

- ・パンフレット、園のしおり、ホームページに園目標を掲載するとともに、玄関、保育室に園目標を掲示しています。懇談会などでは、保護者に園目標について具体的に説明しています。
- ・子どもの送迎時には保護者との会話に努め、子どもの様子をエピソードを交えて伝えています。
- ・乳児は毎日、幼児は必要に応じて連絡帳を用いて保護者と情報交換しています。年1回の個別面談、年2回のクラス懇談会、年1回のクラス交流会を実施しています。5歳児は敬老の日に祖父母を招待しています。
- ・保護者からの相談には、人に相談内容を聞かれないよう配慮し、2階会議室を用いています。個別の面談には複数の職員が対応することとし、必要に応じて園長、主任などが立ち会います。相談は記録し、継続的にフォローしています。
- ・毎月園だより「やまゆり通信」を発行しています。「やまゆり通信」には園からのお知らせのほかにクラスだより、ほけんだより、給食だよりなどが掲載されています。4・5歳児は保育室前のクラスの掲示板にその日の活動報告を掲示しています。3歳児は、年度途中から活動報告を掲示しています。
- ・4月に年間行事予定表を保護者に配布しています。園だよりにも翌月までの予定を載せています。保育参加を随時受け入れていて、その旨を年間予定表に記載しています。
- ・保護者会があり、役員会などの集まりに場所を提供しています。保護者会主催の夏祭りには、保育士がコーナーを受け持つなどして協力しています。保護者会の担当は主任で、相談にのるなどし、コミュニケーションを取っています。

## 評価領域Ⅲ 地域支援機能




| 評価分類  | 評価の理由（コメント）   |
|---|---|
| <p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  <p>(1)地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。<br/>           (2)地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の商店会に加盟し、近隣の事業所などから地域のニーズを把握しています。また、園庭開放や育児相談に訪れた地域の保護者から地域の子育て支援ニーズを把握しています。園長は、緑区の園長会や幼保小連絡会議、運営法人の園長会などで地域のニーズについて情報交換しています。</li> <li>・地域の子育て支援として、園庭・保育室開放を月1、2回、七夕まつり、リトミック、水遊びなどの交流保育、一時保育などを実施しています。また、分園で定員10名の休日保育を実施しています。育児講座では、保育士によるベビーマッサージを年2回と栄養士によるひな祭り弁当作りを実施しています。</li> </ul>                       |
| <p>Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能</p>  <p>(1)地域住民への情報提供や育児相談にしているか。<br/>           (2)相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園の育児支援パンフレット「つくし広場」に園の育児支援の年間予定表を掲載し、情報提供しています。「つくし広場」は園の外の掲示板に掲載するとともに、育児支援の参加者、園の見学者に配布しています。また、みどりっこまつりの会場に置くなど、積極的に情報提供しています。</li> <li>・育児相談を月曜日から金曜日まで実施していて、実績もあります。その旨を園の外の掲示板に掲載するとともに、緑区の「みどりっこカレンダー」に掲載しています。</li> <li>・緑区こども家庭支援課、北部地域療育センター、北部児童相談所などの関係機関のリストがあります。関係機関との連携の窓口は園長で、日常的な連携ができています。</li> </ul> |

## 評価領域Ⅳ 開かれた運営




| 評価分類  | 評価の理由（コメント）  |
|---|--|
| <p><b>Ⅳ－１ 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</b></p>  <p>(1)保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。<br/>           (2)子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会、お楽しみ会には、地域住民を招待しています。近隣の大家、医療機関や銀行、障がい者施設などには5歳児がプログラムを届けに行っています。</li> <li>・地域の商店会の行事に参加し、タケノコご飯を販売するなどしています。</li> <li>・中山小学校とは日常的に連携しています。中山中学校の1年生に保育士が職業講話として、保育士の仕事について話をしました。</li> <li>・5歳児が地域のスーパーにお泊り会のお菓子を買いに出かけています。子どもたちは散歩で、公園でゲートボールをするお年寄りと交流したり、畑で農作業する地域の農家と会話したりしています。散歩での交流がきっかけとなり、子どもたちは地域の農家でイチゴ狩りやなし狩りを楽しんでいます。</li> <li>・地域の障がい者施設のお祭りに園児の共同作品を展示し、見学に行っています。</li> <li>・みどりっこ広場、地域の盆踊り、商店会の行事、障がい者施設で行われる移動動物園などの地域の行事を保護者に紹介しています。</li> </ul> |
| <p><b>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</b></p>  <p>(1)将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。<br/>           (2)利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園のパンフレット、ホームページに園の情報を掲載しています。横浜市のホームページ「ヨコハマはびねずぽっと」に情報提供しています。また、緑区の「みどりっこカレンダー」にも情報提供しています。</li> <li>・園のパンフレットを用い、園長、主任が保育所の基本方針や利用条件、サービス内容などについて説明しています。利用希望者には見学ができることを説明しています。また、「みどりっこカレンダー」にも掲載しています。</li> <li>・見学は木曜日の午前と午後に設定していますが、利用希望者からの要望があれば他の日程で調整するなど柔軟に対応しています。</li> </ul>  |
| <p><b>Ⅳ－３ ボランティア・実習の受け入れ</b></p>  <p>(1)ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。<br/>           (2)実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア受け入れのしおりがあり、それに基づき保育所の方針や守秘義務など配慮すべきことを説明しています。受け入れの担当は主任でボランティア終了時には、感想文を書いています。</li> <li>・緑区社会福祉協議会のサマーボランティア、中学校の職業体験等を受け入れています。霧が丘高校の吹奏楽部がクリスマス会で演奏しています。また、夕方には地域のボランティアに警備をしてもらっています。</li> <li>・実習生のしおりがあり、オリエンテーション時に園の方針や守秘義務など配慮すべきことについて主任が説明しています。主任は実習生の希望を聞いて受け入れ体制を調整し、相談しながら実習の目的に応じたプログラムを作成しています。実習最終日には反省会を行い、職員と意見交換しています。</li> <li>・保育の大学や専門学校の実習生を多数受け入れています。</li> </ul>  |



## 評価領域V 人材育成・援助技術の向上

| 評価分類   | 評価の理由（コメント）   |
|--|---|
| <p><b>V-1 職員の人材育成</b></p>  <p>(1)保育所の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。<br/>           (2)職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。<br/>           (3)非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。</p>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営法人では人材育成の基本的な方向を定めています。目指す職員像、職員に求められる能力を明記しており、それに基づいて人材育成計画が策定されています。</li> <li>・運営法人による研修会が定期的で開催されており、職員は必要な研修を受講しています。年度初めに、外部の研修メニューから各自が必要とする研修を選択し、主任はこれらについて、調整し、参加できるようにしています。</li> <li>・非常勤職員も職員会議や園内研修に参加したり、研修報告書を読む等、資質向上への取り組みを行っています。</li> </ul>   |
| <p><b>V-2 職員の技術の向上</b></p>  <p>(1)職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。<br/>           (2)保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。<br/>           (3)保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に困難事例について職員会議や、リーダー会議で振り返りつつ、その改善方法について検討しています。</li> <li>・職員は、毎年年度の初めに自分の目標を立てて、その実践を行い、年度末に自己評価を行う仕組みがあります。この結果は次の年度の目標設定に活かしています。</li> <li>・年度末には、自分たちの自己評価を踏まえて、年間の運営に関する振り返りをクラス会議やリーダー会議で行っています。</li> <li>・しかしながら、保育園として、園の理念や方針、保育課程に沿って自己評価は行っていません。保護者に対するアンケート調査は行っており、職員の自己評価と保護者のアンケートという他者評価があり、園としての自己評価を行う素地ができあがっています。これらを統合して園としての自己評価が行われることが期待されます。</li> </ul> |
| <p><b>V-3 職員のモチベーションの維持</b></p>  <p>(1)本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成計画の一環として、職員のランク別に目標とする業務内容・役割が明記されています。</li> <li>・年度末に、自己評価表を提出した後に園長による職員に対する個人面談を行っており、その際に職員の満足度を把握するようにしています。</li> </ul>  |

## 評価領域VI 経営管理

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）  |
|---|--|
| <p><b>VI-1 経営における社会的責任</b></p>  <p>(1)事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。<br/>           (2)サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の倫理規定や就業規則等で、職員が不正な行為を行わないように明文化されています。</li> <li>・ ゴミの分別収集を実施し、廃油に苛性ソーダを加え「プリン石けん」を作るなど、ゴミの軽量化、リサイクル化に取り組んでいます。</li> </ul>  |
| <p><b>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</b></p>  <p>(1)保育所の理念や基本方針等について職員に周知されているか。<br/>           (2)重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。<br/>           (3)主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営法人の経営方針、園の目標を記載した園のしおりを全職員に配布しているのと同時に、保育室や職員室に掲示しています。</li> <li>・ 分園を開園するなどの重要な案件に関して、その意思決定にあたり保護者の意見を聞くようにしています。重要な案件についての意思決定については、その経緯を職員および保護者に説明しています。</li> <li>・ ただし、重要な案件が現在は特にはないことから、園内で異なる職種によるプロジェクトチーム、あるいは検討チームを作る仕組みはできていません。今後、重要な案件が出てきた場合、異なる部門から成る検討委員会を作ることが期待されます。</li> <li>・ 主任は、リーダー会議や、毎朝のクラスの巡回などを通して、現場の職員の状況を把握しており、職員が良好な状態で仕事ができるように配慮しています。</li> </ul> |
| <p><b>VI-3 効率的な運営</b></p>  <p>(1)外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。<br/>           (2)保育所運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園長は運営法人の系列園の園長会、緑区の園長会に出席して、事業運営に影響のある情報を収集しています。</li> <li>・ 運営法人では、平成28年度までの5年間の中期計画、29年度から34年度までの中期計画を策定しています。</li> </ul>   |

## 利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2016年6月20日～7月1日
- 2、実施方法 ①保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。  
②各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 78.3%（92枚配付、72枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス…11人、1歳児クラス…16人、2歳児クラス…13人  
3歳児クラス…14人、4歳児クラス…9人、5歳児クラス…8人、無回答…1人

※ 同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。  
※ 文中の「満足」「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、「不満」は、「不満」・「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

- ・ 保育園の保育目標・保育方針については、「よく知っている」、「まあ知っている」と答えた保護者の割合は、合わせて72.2%ですが、その中で保育目標や保育方針に「賛同できる」（53.8%）「まあ賛同できる」（42.3%）合わせて96.1%の保護者が支持しています。
- ・ 項目の中で満足度が高かった項目は、問4「日常生活の保育内容」についての中の「遊び」で6項目中6項目のすべて、同様に「生活」では「給食の献立内容について」（100%）と、「お子さんが給食を楽しんでいるかについて」（94.4%）で90%以上の満足度でした。これに加えて問6、保護者との連携・交流の中で「園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供について」（91.7%）、問7の職員の対応の中の「あなたのお子さんが大切にされているかについて」（95.9%）、「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについて」（94.4%）でそれぞれ90%以上の満足度でした。
- ・ 一方、「不満」と回答する割合は、「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについて」（27.7%）、「園の行事の開催日や時間帯への配慮について」（20.8%）、「開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応について」（20.8%）、「意見や要望への対応について」（20.8%）で不満割合が20%を上回っています。
- ・ 総合満足度は「満足」が45.8%、これに「どちらかといえば満足」の43.1%を加えると実に88.9%と9割近くに達する満足度でした。
- ・ 自由意見には「子どもがよるこんで通っているのが一番ありがたいです」「スタッフや先生方がすばらしいと思います」「忙しいなか子どもだけでなく、親のことも色々気づかってくださり、感謝しています」「子供が日ごと、パワフルになって、親としても、より一層がんばろうという気がわいてきます」という肯定的な意見のある一方、「送迎できない時が多いため、ノートがあればいいと思う」といった要望も寄せられていました。

### ◆まとめ

- ・ 全項目37項目の中で、満足度が80%を超える項目が24項目もあり、過半数を超えていました。
- ・ 特に問4の「遊び」についての質問項目では全項目が90%以上の満足度でした。さらに、「生活」についても7項目中5項目で80%を超える満足度で、保育内容については全般に満足度が高い結果でした。
- ・ また問7の職員の対応についても3項目中2項目が90%を超える満足度でした。
- ・ これに対して不満度が高い項目は保護者とのコミュニケーションの項目でした。「（入園時の）費用やきまりに関する説明について」「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについて」「保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応」「保護者からの相談事への対応」「意見や要望への対応について」で、すべて15%を上回る不満度でした。

## 利用者（園児）家族アンケート集計結果

実施期間：2016年6月20日～7月1日

回収率：78.3%（回収72枚／配布92枚）

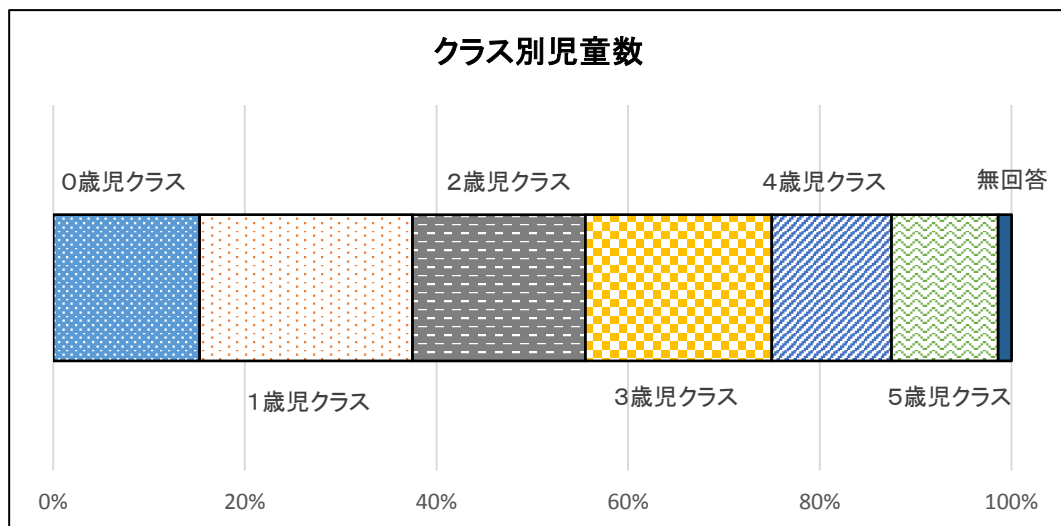
### 【属性】

#### クラス別児童数

(人)

| 合計 | 0歳児クラス | 1歳児クラス | 2歳児クラス | 3歳児クラス | 4歳児クラス | 5歳児クラス | 無回答 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 72 | 11     | 16     | 13     | 14     | 9      | 8      | 1   |

※同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入

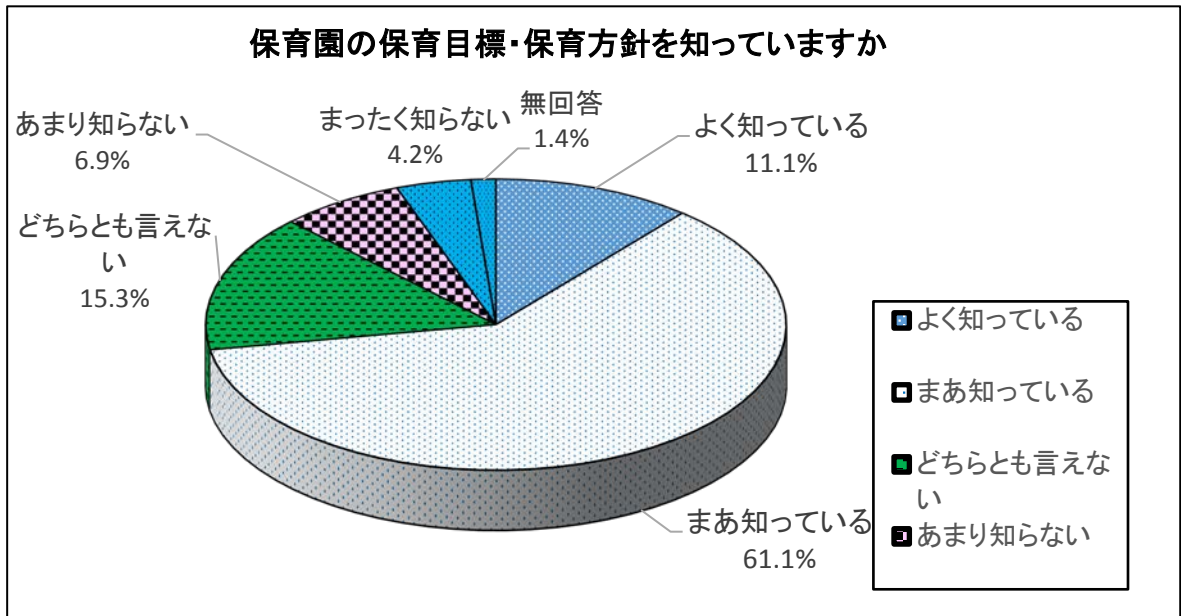


## ■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 保育園の保育目標・保育方針を知っていますか。

| 問1:                       | よく知っている | まあ知っている | どちらとも言えない | あまり知らない | まったく知らない | 無回答  | 計      |
|---------------------------|---------|---------|-----------|---------|----------|------|--------|
| あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか | 11.1%   | 61.1%   | 15.3%     | 6.9%    | 4.2%     | 1.4% | 100.0% |

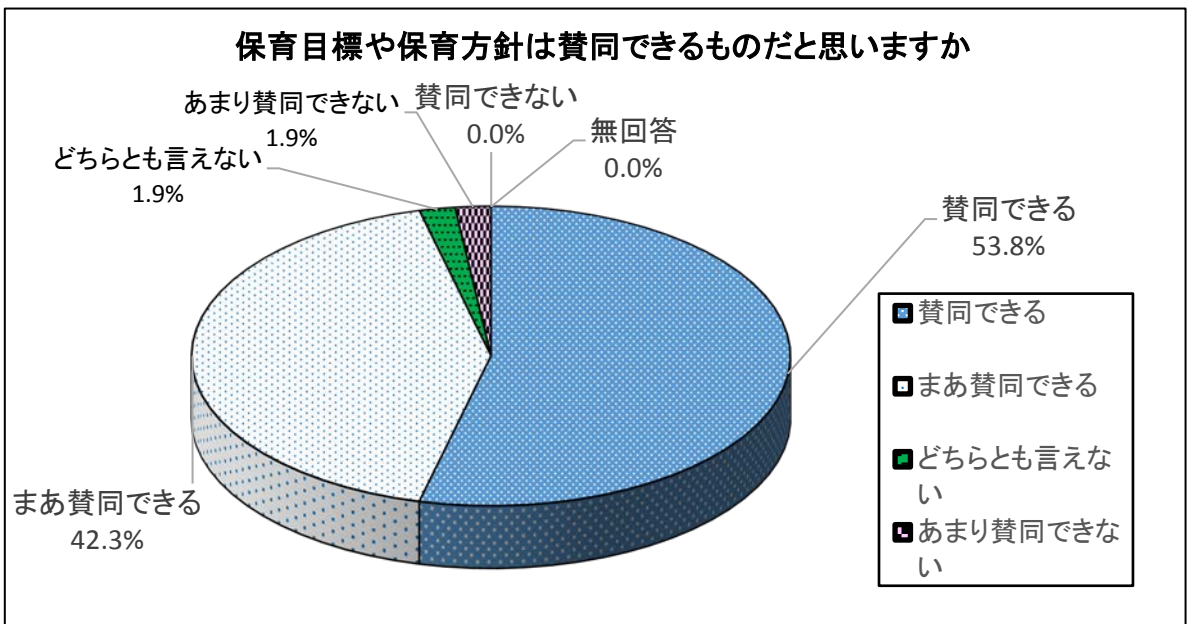
(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)



「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1 その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。

| 付問1:                            | 賛同できる | まあ賛同できる | どちらとも言えない | あまり賛同できない | 賛同できない | 無回答  | 計      |
|---------------------------------|-------|---------|-----------|-----------|--------|------|--------|
| あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか | 53.8% | 42.3%   | 1.9%      | 1.9%      | 0.0%   | 0.0% | 100.0% |

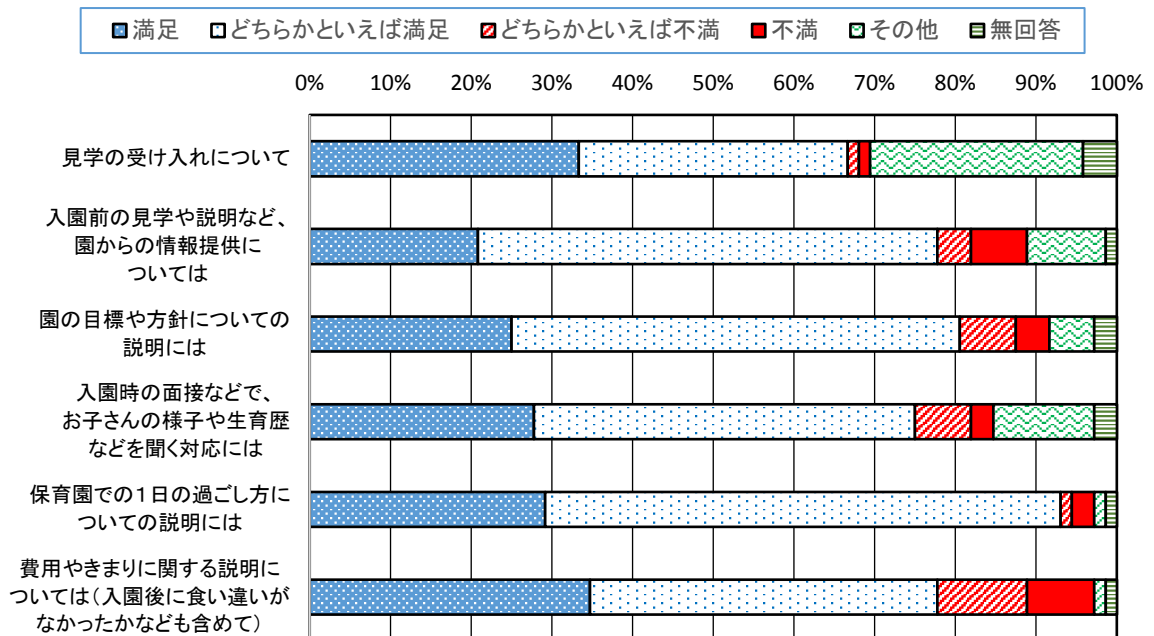


■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

|   | 満足    | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | その他   | 無回答  | 計      |
|---|-------|------------|------------|------|-------|------|--------|
| 見学の受け入れについて                             | 33.3% | 33.3%      | 1.4%       | 1.4% | 26.4% | 4.2% | 100.0% |
| 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については               | 20.8% | 56.9%      | 4.2%       | 6.9% | 9.7%  | 1.4% | 100.0% |
| 園の目標や方針についての説明には                        | 25.0% | 55.6%      | 6.9%       | 4.2% | 5.6%  | 2.8% | 100.0% |
| 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には          | 27.8% | 47.2%      | 6.9%       | 2.8% | 12.5% | 2.8% | 100.0% |
| 保育園での1日の過ごし方についての説明には                   | 29.2% | 63.9%      | 1.4%       | 2.8% | 1.4%  | 1.4% | 100.0% |
| 費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて) | 34.7% | 43.1%      | 11.1%      | 8.3% | 1.4%  | 1.4% | 100.0% |

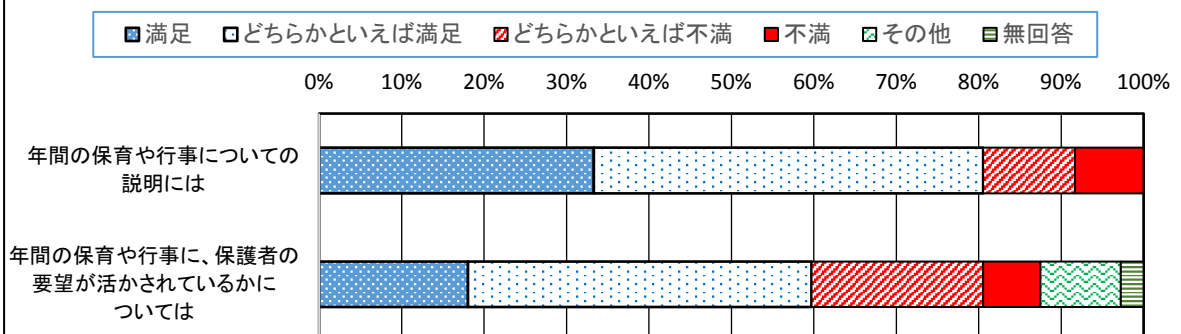
入園時の状況について



問3 保育園に関する年間の計画についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

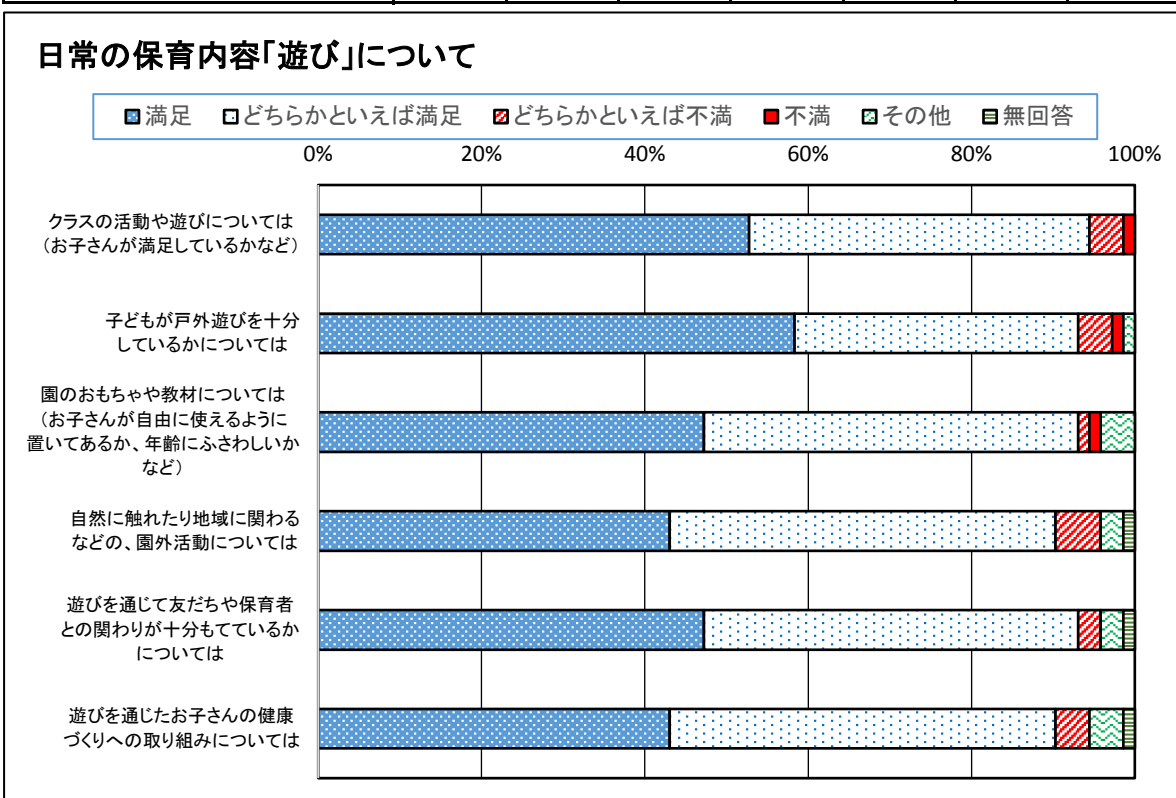
|                                | 満足    | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | その他  | 無回答  | 計      |
|--------------------------------|-------|------------|------------|------|------|------|--------|
| 年間の保育や行事についての説明には              | 33.3% | 47.2%      | 11.1%      | 8.3% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては | 18.1% | 41.7%      | 20.8%      | 6.9% | 9.7% | 2.8% | 100.0% |

年間の計画について



問4 日常の保育内容についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

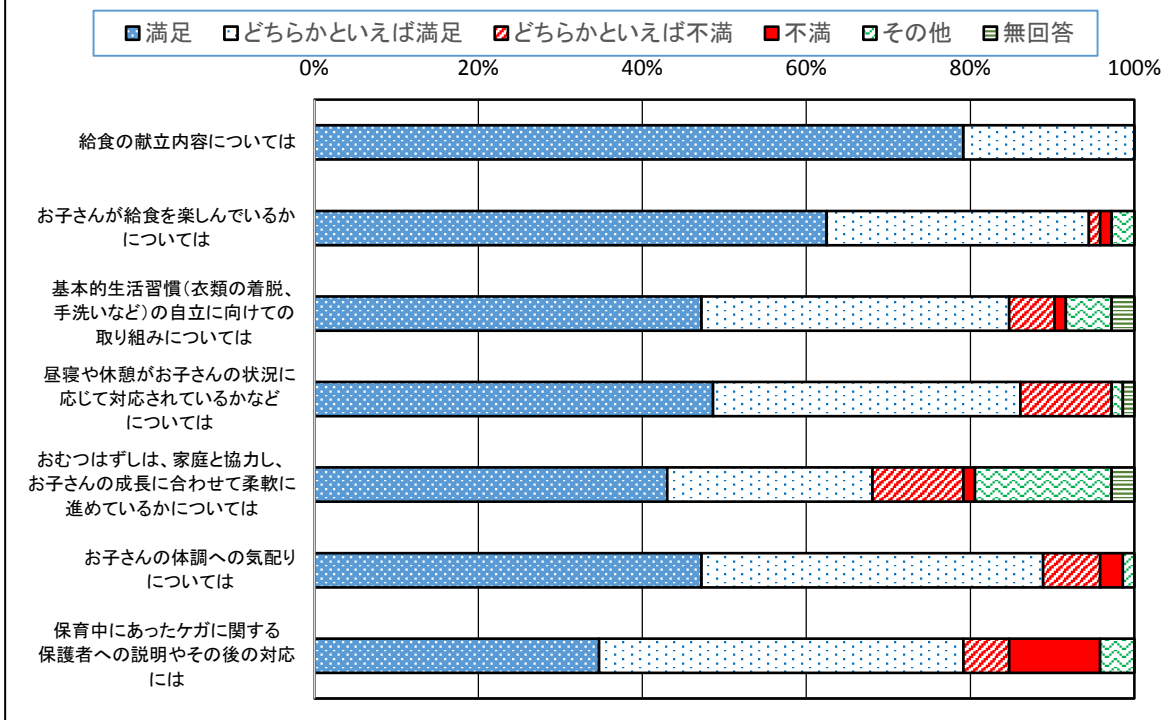
| ●「遊び」について  | 満足    | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | その他  | 無回答  | 計      |
|--|-------|------------|------------|------|------|------|--------|
| クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)                   | 52.8% | 41.7%      | 4.2%       | 1.4% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 子どもが戸外遊びを十分しているかについては                            | 58.3% | 34.7%      | 4.2%       | 1.4% | 1.4% | 0.0% | 100.0% |
| 園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど) | 47.2% | 45.8%      | 1.4%       | 1.4% | 4.2% | 0.0% | 100.0% |
| 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については                       | 43.1% | 47.2%      | 5.6%       | 0.0% | 2.8% | 1.4% | 100.0% |
| 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては                 | 47.2% | 45.8%      | 2.8%       | 0.0% | 2.8% | 1.4% | 100.0% |
| 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては                      | 43.1% | 47.2%      | 4.2%       | 0.0% | 4.2% | 1.4% | 100.0% |



●「生活」について

|   | 満足    | どちらかといえ<br>ば満足 | どちらかといえ<br>ば不満 | 不満    | その他   | 無回答  | 計      |
|---|-------|----------------|----------------|-------|-------|------|--------|
| 給食の献立内容については                              | 79.2% | 20.8%          | 0.0%           | 0.0%  | 0.0%  | 0.0% | 100.0% |
| お子さんが給食を楽しんでいるかについては                      | 62.5% | 31.9%          | 1.4%           | 1.4%  | 2.8%  | 0.0% | 100.0% |
| 基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては    | 47.2% | 37.5%          | 5.6%           | 1.4%  | 5.6%  | 2.8% | 100.0% |
| 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては          | 48.6% | 37.5%          | 11.1%          | 0.0%  | 1.4%  | 1.4% | 100.0% |
| おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては | 43.1% | 25.0%          | 11.1%          | 1.4%  | 16.7% | 2.8% | 100.0% |
| お子さんの体調への気配りについては                         | 47.2% | 41.7%          | 6.9%           | 2.8%  | 1.4%  | 0.0% | 100.0% |
| 保育中であつたケガに関する保護者への説明やその後の対応には             | 34.7% | 44.4%          | 5.6%           | 11.1% | 4.2%  | 0.0% | 100.0% |

日常の保育内容「生活」について





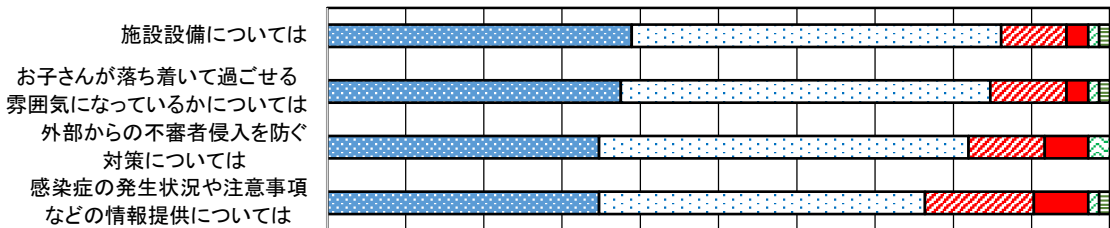
問5 保育園の快適さや安全対策などについてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

|                               | 満足    | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | その他  | 無回答  | 計      |
|-------------------------------|-------|------------|------------|------|------|------|--------|
| 施設設備については                     | 38.9% | 47.2%      | 8.3%       | 2.8% | 1.4% | 1.4% | 100.0% |
| お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては | 37.5% | 47.2%      | 9.7%       | 2.8% | 1.4% | 1.4% | 100.0% |
| 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については          | 34.7% | 47.2%      | 9.7%       | 5.6% | 2.8% | 0.0% | 100.0% |
| 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については     | 34.7% | 41.7%      | 13.9%      | 6.9% | 1.4% | 1.4% | 100.0% |

快適さや安全対策などについて

■満足 □どちらかといえば満足 ▨どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



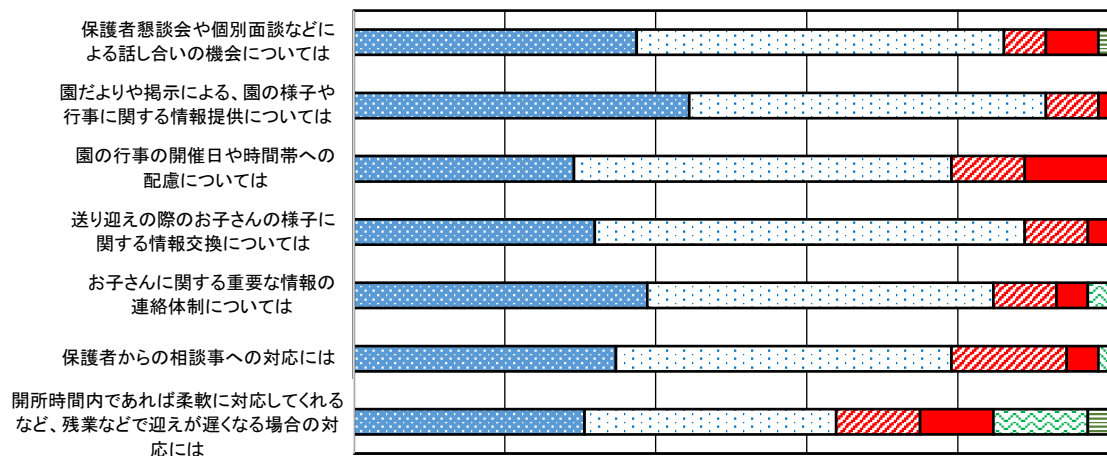
問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

|   | 満足    | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満    | その他   | 無回答  | 計      |
|---|-------|------------|------------|-------|-------|------|--------|
| 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については              | 37.5% | 48.6%      | 5.6%       | 6.9%  | 0.0%  | 1.4% | 100.0% |
| 園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については           | 44.4% | 47.2%      | 6.9%       | 1.4%  | 0.0%  | 0.0% | 100.0% |
| 園の行事の開催日や時間帯への配慮については                     | 29.2% | 50.0%      | 9.7%       | 11.1% | 0.0%  | 0.0% | 100.0% |
| 送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については               | 31.9% | 56.9%      | 8.3%       | 2.8%  | 0.0%  | 0.0% | 100.0% |
| お子さんに関する重要な情報の連絡体制については                   | 38.9% | 45.8%      | 8.3%       | 4.2%  | 2.8%  | 0.0% | 100.0% |
| 保護者からの相談事への対応には                           | 34.7% | 44.4%      | 15.3%      | 4.2%  | 1.4%  | 0.0% | 100.0% |
| 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には | 30.6% | 33.3%      | 11.1%      | 9.7%  | 12.5% | 2.8% | 100.0% |

園と保護者との連携・交流について

■満足 □どちらかといえば満足 ▨どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%

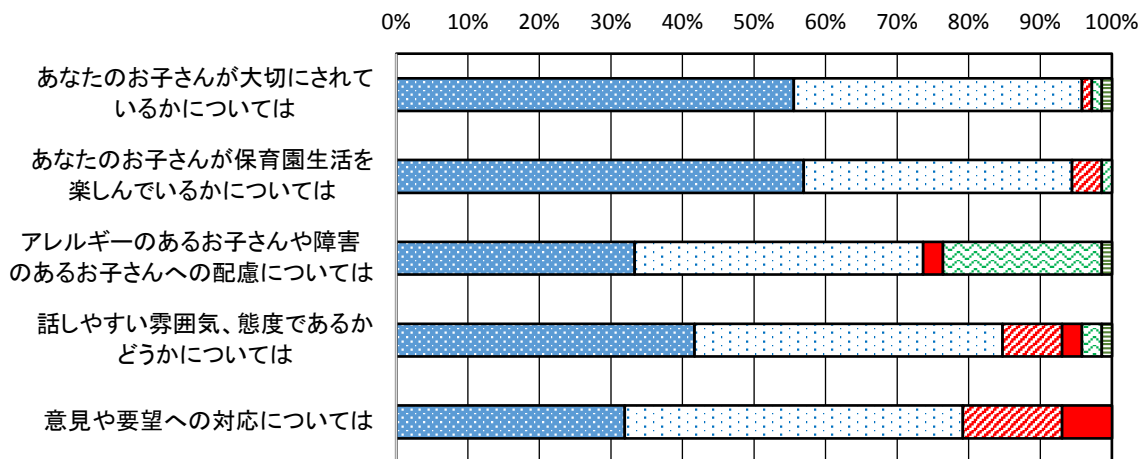


問7 職員の対応についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。

|                                 | 満足    | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | その他   | 無回答  | 計      |
|---------------------------------|-------|------------|------------|------|-------|------|--------|
| あなたのお子さんが大切にされているかについては         | 55.6% | 40.3%      | 1.4%       | 0.0% | 1.4%  | 1.4% | 100.0% |
| あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては    | 56.9% | 37.5%      | 4.2%       | 0.0% | 1.4%  | 0.0% | 100.0% |
| アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については | 33.3% | 40.3%      | 0.0%       | 2.8% | 22.2% | 1.4% | 100.0% |
| 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては         | 41.7% | 43.1%      | 8.3%       | 2.8% | 2.8%  | 1.4% | 100.0% |
| 意見や要望への対応については                  | 31.9% | 47.2%      | 13.9%      | 6.9% | 0.0%  | 0.0% | 100.0% |

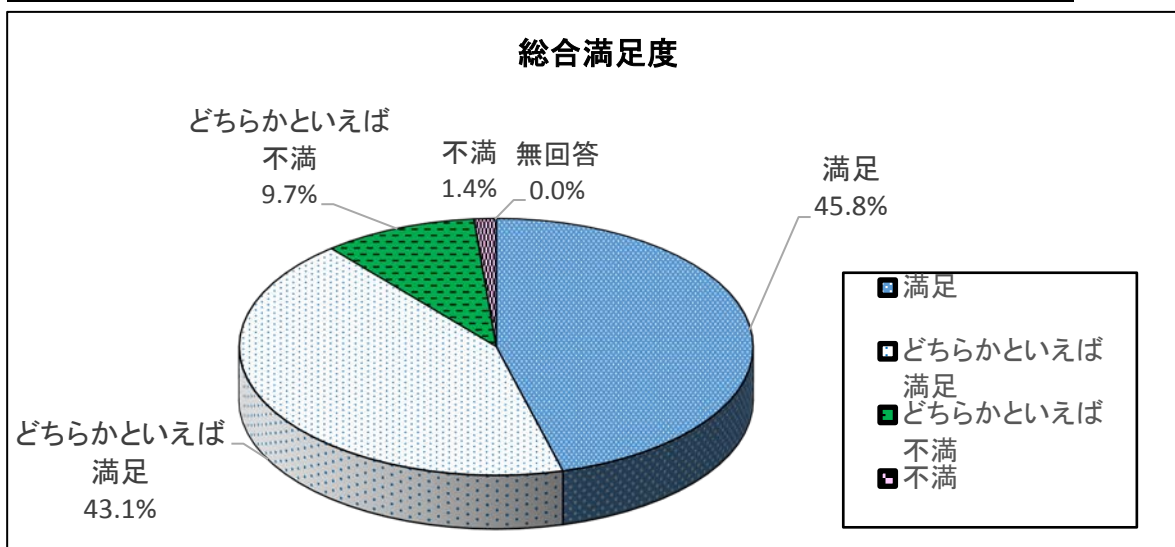
職員の対応について

■満足 □どちらかといえば満足 ▨どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

|        | 満足    | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | 無回答  | 計      |
|--------|-------|------------|------------|------|------|--------|
| 総合満足度は | 45.8% | 43.1%      | 9.7%       | 1.4% | 0.0% | 100.0% |



## 利用者（園児）本人調査 分析

- ◆観察調査 1日目) 8月5日(金)9:00~17:30  
2日目) 8月12日(金)9:00~17:00

※ 観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

### ◆ 0歳児クラス（たんぽぽ組）

0歳児は這い這いを始めた子どもからよちよち歩ける子どもまで月齢によって差があります。隣の3歳児の朝の歌が始まると、子どもたちは身体をゆすったり手を上げたりします。3歳児に合わせて0歳児も朝の会になります。点呼の時には、子どもが手を上げても上げなくても、保育士全員で褒めます。保育士は子どもの甘えを受け入れ、抱っこをしたり膝に乗せたりして受け止めています。

オムツは一対一で声をかけたり笑いかけたりして、ゆったりとスキンシップを取ります。布で作った大きな積木を出すと、持って歩く子ども、布でできたシール状の目を積木に貼る子ども、上に座る子ども、転がす子どもとそれぞれ好きなことをして遊びます。保育士が上に積むと子どもも真似をして積み、たくさん「すごい」と誉めてもらいます。保育士に一つずつ、誉めてもらい、子どもたちの行動もだんだん大きくなっていきます。

その後、月齢の高い子どもは廊下でボール遊びをします。子どもたちは、投げたり、蹴ったり、よちよち歩いたり、隣のクラスの活動をのぞいたりしています。

### ◆ 1歳児クラス（もも組）

1歳児は保育室を2つに分け、子どもも2つのグループに分けて、少人数で落ち着いて過ごせるようにしています。全員で朝の会をして、それぞれのスペースに分かれて体操をした後はグループに分かれての活動です。保育士がマットの上に子どもを集めて積み木やままごとを出すと、子どもたちはそれぞれ好きなことをして遊びます。仲間に入りたいのに上手く言えない子どもには、保育士が代弁して他の子どもたちに入れてくれるように頼みます。

プール遊びはグループごとに交替でします。プールの水の中にいきなり入ってしまう子ども、おもちゃで水遊びを楽しむ子どもと子どもによって水への反応はそれぞれです。保育士は様々な道具を使って遊びを盛り上げます。穴の空いたペットボトルを保育士が上からつり下げて水を雨のように降らすと、子どもたちは喜びます。プールを終えたグループは、チラシに円形のシールを貼ったりお絵かきをしたりして、それぞれ好きな作品を作っていました。

### ◆ 2歳児クラス（ちゅうりっぷ組）

朝おやつの前に保育士が絵本を読み始めると、子どもたちは集中して聞いています。畑から色々なものが姿を現すたびに子どもから「ちょうちょー」「とりさんー」と声があがります。朝おやつは、枝豆と牛乳です。子どもたちはスプーンに枝豆を3~4個ずつ上手にのせて食べています。「おかわりください」「お豆くださいな」とすぐに子どもから声があがります。朝の会の前に、ピアノに合わせて歌を歌います。テンポよく4曲歌が続きますが、いつも歌っているのか、子どもたちは、よく声を出して歌い、手を動かして振りをつけています。

プール遊びを楽しんだ後は、人形とブロックで遊びます。人形をだっこしてあやしたり、トントントンして寝かしたりしています。おんぶ紐を使って人形をおぶい、布袋に荷物を詰め保育室の中を歩いている子どももいます。ブロックの子どもたちは長くつなぎ、電車のつもりか保育室の中を走らせます。子どもたちは、友達と並んで走らせたり、反対側から走らせて真ん中で合体させたりと仲良く遊んでいました。

### ◆ 3歳児クラス（さくら組）

登園した子どもたちは積木をしたり、絵本を読んだり、ブロックをしたりして思い思いに過ごします。積木でアイスの形を作って、保育士に「アイスができたよー」と見せる子ども、三角形を何個も作っている子どもとそれぞれの発想で作っています。保育士が積み木を交互に組み合わせて高く積み上げて見せると、そばにいた子どもたちから歓声がおきます。一人の子どもが触ると積み木が崩れてしまい、子どもたちからまた歓声が上がりました。

食事前には、紙芝居を見ます。地震の紙芝居を皆集中して静かに聞いていて、保育士の「どれが危ない？」の問いかけに、「ピアノ！」と一斉に答えます。○×式のクイズでは、「マル、マル！」「バツ、バツ！」と大きな声で言い合っています。子どもたちは、クイズが大好きで、観察時には、他にも食育や交通安全の紙芝居に真剣に見入り、意見を言ったり元気にクイズに答えている姿を見ることができました。

### ◆ 4歳児クラス（こずもす組）

観察日は3歳児と一緒に水遊びをしました。子どもたちは、ジョウロ、バケツ、スプーンなどで水をたらいから入れたり出したり、友達同士で水をかけ合ったりして遊んでいます。一人の子どもが、ジョウロの入口に口をつけて、プーっと吹くと、ジョウロの先からシャワーのように水が吹き出します。それを見た周りの子ども達も真似をし、次々水を噴き出して遊びます。水遊びの後は、グループに分かれてのブロック遊びです。細かいブロックを組み合わせてそれぞれの作品を作ります。できあがると友達同士で見せ合ったり、保育士に「見て見て」と得意げに見せたりしています。保育士は子どもの作品をほめ、「こうしたらもっと格好よいかも」と新しいヒントを出します。作品を友達と合体させたり、物語を作ってごっこ遊びに発展させたりしている子どももいます。

食事は保育士がよそったものを当番が配膳し、楽しくおしゃべりを楽しみながら食べます。食事の時間がゆったりととってあるので、皆が同じようなペースで食べ終わり食後のおしゃべりを楽しんでいました。

### ◆ 5歳児クラス（ひまわり組）

朝の会の前に絵本を読んで過ごします。友達同士でおしゃべりをしながらパズルやクイズ的な絵本を見ている子ども、友達と図鑑を眺めている子ども、一人でじっくりと絵本を読む子どもとそれぞれ好きな絵本を落ち着いて読んでいます。観察日の活動は跳び箱です。準備運動をした後、最初は一段から一人ずつ挑戦します。上手く跳べた子どもには皆で拍手し、跳べなかった子どもには保育士が「おいしい」「後少し」「前より高くなったよ」などと誉めたり励ましたりして、できるようになるためのポイントを説明していします。子どもたちも「練習したら跳べるよ」などと声をかけています。1段、2段と挑戦した後、最後に高さを変えるか、向きを縦に変えるかと子どもに聞くと、子どもたちが相談しそのままの高さで向きも変えないことになりました。

その後は水遊びです。水遊びの時に保育士が飛んできたチョウチョを見て「珍しいチョウチョ」と指さします。子どもたちも集まり、全員で「珍しいチョウチョ」とよく観察します。着替えが済むと子どもたちはすぐに図鑑を取り出して、先ほど見たチョウチョの名前を探していきます。真剣に探した結果、ついに見つけることができ、皆で報告し合っていました。

### ◆まとめ

保育士に優しく受け止めてもらい、子どもたちはそれぞれのペースで元気いっぱい園生活を楽んでいます。おしゃべりも上手で自分のことをたくさん話すことができます。プールや体操では、歓声をあげて身体を思いっきり動かしています。このように元気な子どもたちですが、絵本も大好きです。絵本の場面ではどのクラスも静かに落ち着いて、絵本に集中していました。

## 事業者コメント

園目標である、  
元気に明るくのびのびと  
遊びを大切にして、集団の中で成長発達を育てる  
一人一人の思いを受け止め、その子らしさを大切に  
を職員全員で分かり合い、子どもたちを中心に毎日の保育を進めてきました。

今回の第三者評価を受けることになり、また改めて子どもたちの為に…という視点を揺るがすことなく、評価していただきうれしく思います。

さらに、第三者評価を受けることで、毎日の保育を振り返り、保育環境を整えたり地域の方との関わりを考えたりといろいろな方面から、また改める機会となりました。  
絵本は【心の栄養】と思い、絵本に関わる毎日の積み重ねが、評価していただきうれしく思います。

これからも、職員一同力を合わせて子どもたちを中心に、保護者・地域の方々のお力をお借りしながら、笑顔あふれる保育園にしていきたいと思えます。  
第三者評価にご協力いただきました皆様に、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

やまゆり中山保育園  
園長 山崎 育子

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

- 市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

- 横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.lg.jp/kenkou/fukushi/>

- かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.knsyk.jp/search/3hyouka/index.html>



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0011 横浜市中区太田町 4-49 N G S 横濱馬車道 802 号室

TEL : 045-222-6501 FAX : 045-222-6502 <http://www.shimin-sector.jp>